

2026年度 前期

学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔科目名：音楽Ⅰ〕

〔単位数：2単位〕

〔使用教科書：教育芸術社 高校生の音楽①〕

〔使用副読本：Misic Navigation 〕

授業回	項目	教科書		副読本	レポート		
		内 容	ページ	ページ	前／後	回	課 題 内 容
1	日本の伝統音楽、民謡	日本の伝統音楽の特徴を知り	p86～93	p42,43	前 半	1	日本の伝統音楽（箏曲）
	楽典（音名）	鑑賞を通して日本文化を学ぶ。	p102～113	p65～67			音名
2	歌唱、楽典（記譜法、写譜）	「校歌」の歌唱。記譜の方法を学ぶ。	p154	p64,65,ナビ			
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲				
3	歌唱（日本歌曲）	この道	p18,19			2	写譜
	楽典（楽語）	楽語を理解する。	p157	p97～100			音価
4	楽典（音階、音価）	音階と調、音価を学ぶ。	p155	p78～85			
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲				
5	鑑賞	クラシック音楽の名作の聴き方を学ぶ。	教員が選曲			3	日本歌曲「この道」
							音楽用語
6	楽典（拍子）	様々な拍子の数え方と標記方法を学ぶ。		p68～73			
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲				
7	西洋音楽史①	バロック時代、古典派の音楽を学ぶ。	p128～131	p8～19	後 半	4	鑑賞
8	楽典（コードネーム）	和音とコードネームを学ぶ。	p66～69	p86～90			
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲				
9	西洋音楽史②	ロマン派、近現代の音楽を学ぶ。	p132～145	p20～37		5	西洋音楽史
							作曲
10	創作	拍子を理解して作曲する。					
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲				
11	オペラ鑑賞	総合舞台芸術であるオペラを学ぶ。	p138,139			6	アルトリコーダー運指
							世界の民族音楽（女声合唱）
12	世界の民族音楽	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p94～101				コードネーム
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲				

2026年度 前期

学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔科目名：美術 I 〕

〔単位数：2 単位〕

〔使用教科書：日本文教出版 高校生の美術 1 〕

〔使用副読本：なし〕

授業回	項目	教科書		副読本
		内 容	ページ	ページ
1	模写デッサン	鉛筆の表現。	p132～135	
		グラデーションを描く。		
2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き	p132～135	
		写す。立方体を描く。		
3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き	p132～135	
		写す。幾何形態を描く。		
4	レタリング	文字のプロポーショナルを学ぶ。	p149	
		骨格、エレメントなど。		
5	レタリング	和文字とアルファベットの違いを学ぶ。	p149	
6	レタリング	明朝体とゴシック体の違いを学ぶ。	p149	
7	色彩構成	色の3原色を使い、混色を学ぶ。	p152～154	
		黄←→青、赤←→青、黄←→赤		
8	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を	p152～154	
		学ぶ。色彩構成、平面構成		
9	色彩構成	3色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を	p152～154	
		学ぶ。色彩構成、平面構成		
10	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役	p76,77	
		割を理解し、具体的な形に表現する。		
11	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役	p76,77	
		割を理解し、具体的な形に表現する。		
12	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役	p76,77	
		割を理解し、具体的な形に表現する。		

レポ ー ト		
前／後	回	課 題 内 容
前 半	1	デッサン基礎
		「5段階のグレースケール」
		陰影・中間色の表現
	2	レタリング
		「永」 明朝体
		デザインの基礎
	3	水彩「屋内の風景」
		水彩技法
		パースの概念
後 半	4	デッサン
		「立体感の表現」球体を描く
		タッチの概念
	5	光源の意識
		ピクトグラム
		「クラブ活動」
		コンセプトを立てる
	6	要素の引き算
		鑑賞・美術史
		絵画・彫刻・デザインの歴史
		作品に対する言語表現

2026年度 前期

学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔科目名：書道Ⅰ〕

〔単位数：2単位〕

〔使用教科書：東京書籍 書道Ⅰ〕

〔使用副読本：高校硬筆の練習〕

授業回	項目	教科書		副読本	レポート		
		内 容	ページ	ページ	前／後	回	課 題 内 容
1	楷書の学習	虞世南の伸びやかで温和な楷書を	p17～27	適宜	前 半	1	「大道」
		臨書する。					
2	孔子廟堂碑	楷書の特徴と唐の四大家について学ぶ。	p26～27	適宜			
3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p42～61	適宜		2	「風信雲書」
4	風信帖	空海について学ぶ。	p56～61	適宜			
		文字の配置に気を付けて、臨書する。					
5	篆書の学習	篆書の特徴を理解する。	p70～73	適宜		3	ペン字教本
		篆書の用筆法を学ぶ。					原稿用紙の書き方を学ぶ
6	泰山刻石	泰山刻石を臨書する。	p72～73	適宜			
7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。	p80～89	適宜	後 半	4	「皇帝」
		いろは歌					
8	蓬萊切	蓬萊切を臨書する。	p90～91	適宜			
9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた表現	p74～77	適宜		5	「おほぞらに むれたつ
		方法をもとに、漢字の書の制作をする。					～かな」
10	創作	草稿を作り、練習して作品にまとめる。		適宜			
11	漢字仮名交じり文	自分の表現を目指して、制作の意図に	p110～127	適宜		6	漢字の成立と変遷
		応じて、工夫する。					中国と日本の書家
12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生かして、		適宜			
		創作する。					

2026年度 前期

学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔科目名：ピアノ基礎〕

〔単位数：2単位〕

〔使用教科書：指導者作成テキスト〕

〔使用副読本：なし〕

授業回	項目	教科書		副読本
		内 容	ページ	ページ
1	楽譜の読み方	ピアノの鍵盤について知り、音階の場所を覚える	1～4	
		ト音記号、ヘ音記号の読み方を同時に学習する		
2	基本ポジション 片手の弾き歌い	指番号を覚え、基本のポジションで弾く	5～7	
		片手と歌を演奏する		
3	両手（左手は単音）の弾き歌い	両手（左手は単音）と歌を演奏する	7～9	
		強弱記号など基本的な音楽用語を学習する		
4	基本ポジション以外の曲 音価	親指をくぐらせる曲を演奏する	10～13	
		音符、休符の名前や長さを演奏しながら覚える		
5	両手（左手は単音）の弾き歌い 音価	両手（左手は単音）と歌を練習する	13～16	
		音価を学習し演奏する		
6	両手（左手は和音）演奏	I IV V V 7 の和音をマスターする	17～18	
		両手（左手は和音）で演奏する		
7	両手（左手は和音）の弾き歌い 調性	両手（左手は和音）と歌を演奏する	19～22	
		音階を学習し、調号のついた曲を演奏する		
8	移調奏	移調奏を体験する	23	
9	すぐに役立つ曲を演奏する	テキストから好きな曲を選曲し、演奏する	24～32	
10				
11				
12				

レポ ー ト		
前／後	回	課 題 内 容
前 半	1	鍵盤の位置（ト音記号）
		ト音記号とヘ音記号
		強弱記号
	2	鍵盤の位置（ト音記号）
		臨時記号
		強弱記号
	3	鍵盤の位置（ヘ音記号）
		音楽記号
		全音と半音
後 半	4	音価
	5	拍子
		和音と鍵盤の位置
	6	音階
		調号